

平成28年度函館市地域包括支援センター事業評価 評価結果

函館市地域包括支援センターときとう

1. センターの概要(平成28年4月1日現在)

センター所在地	函館市時任町35番24号 こんクリニック時任内		担当圏域	中央部第2	
圏域の人口	27,979人	圏域の高齢者人口	8,922人	圏域の高齢化率	31.9%
職員数	保健師 1人, 社会福祉士 2人, 主任介護支援専門員 3人, その他 3人(配置基準職員 5人)				

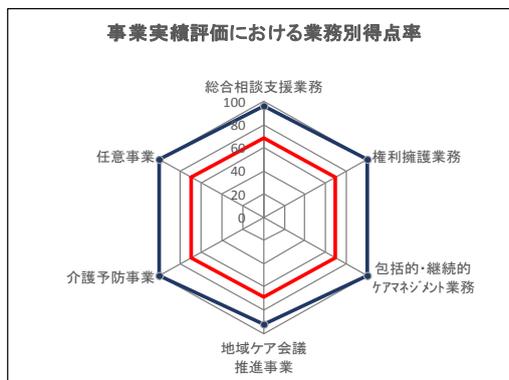
2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 全職員問題なく事業に取り組んでいる。 平成28年度は圏域の見直しがあり、センターの規模が縮小したため、情報共有やチームアプローチが行いやすくなった。 総合相談支援業務については、全職員必要なスキルは身につけていると評価している。 権利擁護業務についても全職員で対応しており、反省点は次につなげるという対応ができている。

市の評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の取り組みに問題はない。 センターの規模が小さくなったことで、それぞれの職員が主体的に判断し、対応できるようになったと評価する。 保健師が1人配置になっており、職員の入れ替わりもあったことから、今後もチームアプローチができる体制を継続していただきたい。

3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	<ul style="list-style-type: none"> A 期待以上(87%以上) B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満) C 改善を要する(50%以上69%未満) D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務については、町会とのネットワークに偏りがある。全く関わっていない町会はないが、関わり方に濃淡がある。民生児童委員とのネットワークについては、民生児童委員協議会へ積極的に参加することで、相談を受けやすい体制ができている。 権利擁護業務については、早期介入・支援が行えるよう、センター職員のスキルアップだけでなく、民生児童委員や関係機関を対象とした研修会を開催し、地域の対応力も向上している。 包括的・継続的ケアマネジメント業務のケアプラン指導研修については、ケアマネジャーのニーズがあれば可能な限り開催している。このことにより、地域のケアマネジャーと顔の見える関係づくりが行え、日常的に連携しやすい体制ができている。

市の評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務について、企業や関係機関を対象とした啓発は多く実施しているが、地域住民を対象としたものが少ない。支援が必要になった際、地域住民自身が早期に相談できる体制づくりのため、地域包括支援センターの役割等の周知を積極的に実施していただきたい。 包括的・継続的ケアマネジメント業務において、地域のケアマネジャーのニーズを的確に捉え、タイムリーに研修会を開催しており評価する。

4. 運営体制評価

- 3職種における基準を上回る配置や継続勤務年数が長いことなど、センター事業を円滑に実施できる体制が確保されている。
- 現場の要望も踏まえ職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- 外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- 同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営を行っている」と評価する。

5. 総評

センターにおいては、各分野全般にわたってバランス良く事業が実施できており、運営法人も職場環境を整えるなど、その実施体制の充実を図っている。

居宅介護支援事業所やケアマネジャーのニーズを捉えたケアプラン指導研修の開催や、商業施設も含めた地域のネットワーク構築に積極的に取り組むなど、ネットワークを活かしたきめ細かい事業展開を行っている」と評価する。

今後は、地域住民へも積極的に啓発活動等を行うことにより、地域の高齢者の相談窓口として、早期介入ができる体制づくりを行っていただくことを期待する。